



# アナログウォッチ 取扱説明書

## 取扱説明書番号 MA-Q001D

このたび弊社アナログクォーツウォッチをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。この取扱説明書はお手もとに保存のうえ必要に応じてご覧ください。

	<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的障害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お取り扱いについて
  - △警告 防水性能について**
- \*防水時計の防水性能や機能を必ずご確認ください、「取扱説明書」に従って正しくご使用ください。（誤った使用は、危険です。）
  - ・非防水時計 : 水滴のかかる場所でのご使用はできません。
  - ・3気圧 (3BAR) 防水時計 : 洗顔などはできますが、水中でのご使用はできません。
  - ・5気圧 (5BAR) 防水時計 : 水泳などはできますが、スキンドайビング(素潜り)などにはご使用できません。
  - ・10/20気圧 (10/20BAR) 防水時計 : スキンドайビングなどはできますが、スキューバダイビングにはご使用できません。
  - ・防水性能 …… 時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図をご参照ください。

りゅうずはきちんと押し込んでご使用ください。	使 用 例						
仕 様	表 示		水のかかる程度の使用。(洗顔、雨等)	水仕事や一般水泳に使用。	スキンドайビング、マリンスポーツに使用。	空気ポンプを使用するスキューバダイビングに使用。	水滴がついた状態でのりゅうず操作
非 防 水	—	—	×	×	×	×	×
3 気 圧 防 水	WATER RESIST	WATER RESISTまたは警告表示	○	×	×	×	×
5 気 圧 防 水	WATER RESIST	WATER RESIST 5BARまたは警告表示	○	○	×	×	×
10気圧防水 20気圧防水	WATER RESIST	WATER RESIST 10/20BARまたは警告表示	○	○	○	×	×

### ご注意

- ・りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじロック式タイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- ・水分のついたままりゅうずの操作をしないでください。
- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。水の中で使うことが多い日常生活防水以上の機能を要する時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起すことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。
- ・防水時計の場合、海水に浸した時や汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。（蛇口の水を直接かけないで、汲んだ水で洗ってください。）
- ・時計の内部にも多少の湿気がありますので、外気の温度が時計内部より低いときは、ガラス面がくもる場合があります。くもりが長時間消えない時は、お買い上げ店でご相談ください。
- ・一定の防水性能を保つため定期的に（2～3年を目安に）パッキンの交換をしてください。（お買い上げ店でご相談ください。）

#### △注意 携帯時の注意

- ・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分にご注意ください。また、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
- ・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。

#### △注意 金属バンドのお取り扱いについて

- ・バンド中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

#### △注意 電池のお取り扱いについて

- ・幼児の手が届かない所に置いてください。
- ・万一電池を飲み込んだ場合には直ちに医師と相談して治療を受けてください。

#### △注意 電池交換について

- ・電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

#### △注意 かぶれについて

- ・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。また、皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起すことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。（時々はりゅうず通常位置のままでりゅうずを空回りさせてゴミ、汚れを落としてください。）
- ・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐ医師に相談してください。

（かぶれの原因）金属、皮革アレルギー、時計本体およびバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。

#### 〈時計のお手入れ方法〉

- ・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
- ・皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。

#### ご注意

#### 温度について

- ・－10℃～＋60℃から外れた温度下では機能低下や、停止することがあります。
- ・直射日光にさらしたり、炎天下の車内など高温になる所に長時間置かないでください。故障の原因になったり、電池寿命が短くなります。
- ・屋外など、低温になる所に長時間置かないでください。故障の原因になったり電池寿命が短くなります。

#### 磁気について

- ・磁石には近づけないでください。磁気健康機具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの止め具、携帯電話のイヤホン部など、磁気に近づけると正しい時刻を表示しません。この場合は磁気から離して時刻修正を直してください。

#### 静電気について

- ・クォーツウォッチに使われているICは、静電気に対し弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると表示がずれることがありますのでご注意ください。

#### ショックについて

- ・床面に落とすなどの激しいショックはあたえないでください。

#### 化学薬品・ガス・水銀について

- ・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

#### 保管について

- ・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管ください。


#### お買い上げいただいた時計についている電池について

- ・この電池は、工場で組立時に機能、性能を確認する為のモニター用電池です。お買上後、所定の年数に満たないうちに寿命が切れてしまう事がありますのでご了承ください。

※電池は、保証外です。保証期間内であっても交換は有料となります。

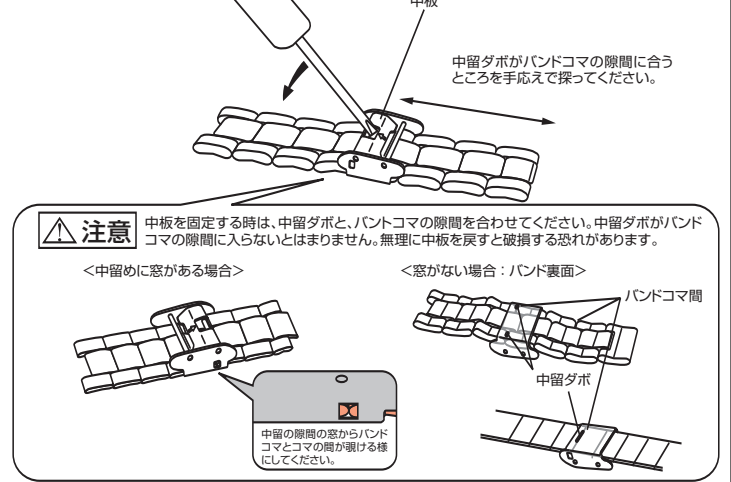
<p>この取扱説明書は<b>各モデル共通になっております</b>ので、<b>デザインが異なってもご使用になられます</b>。</p> <p>また、<b>お買い上げ商品にない機能が載ってございましたらその箇所は省いてご利用ください</b>。</p>
---

## バンド調整方法

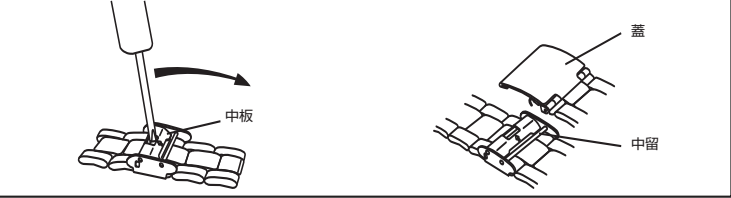
<p></p> <p><b>●バンド調整について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・バンド中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。</li> <li>・バンド調整後不要になったピン、コマ等は危険ですので、そのまま放置しないで安全な場所に保管してください。</li> <li>・作業を行うときは、けがや事故防止のため十分注意してください。（万一ケガ等された場合、メーカーとして責任は負いかねます）</li></ul>
---

### スライド式フリーアジャストバンド（中留ダボの形状が2種類あります。）

- ① マイナスドライバーの様なもので中板を持ち上げます。腕の太さに合う様にスライドさせ、位置を調整します。



- ② マイナスドライバーの様なもので中板を下げます。
- ③ 留め金カバーを中留に引掛けてから留め金カバーの蓋をしてください。



### 三ツ折バックル方式(ダブルカバー付)

<p>① 長くするとき</p> <p>ダブルカバーを三ツ折カバーからはずして、再び三ツ折カバーの適合した長さの位置に取り付けてください。</p>	<p>② 短くするとき</p> <p>ダブルカバーを取りはずして、三ツ折カバーの適合した位置に取り付けてください。</p>
--	---

### 板バネ方式

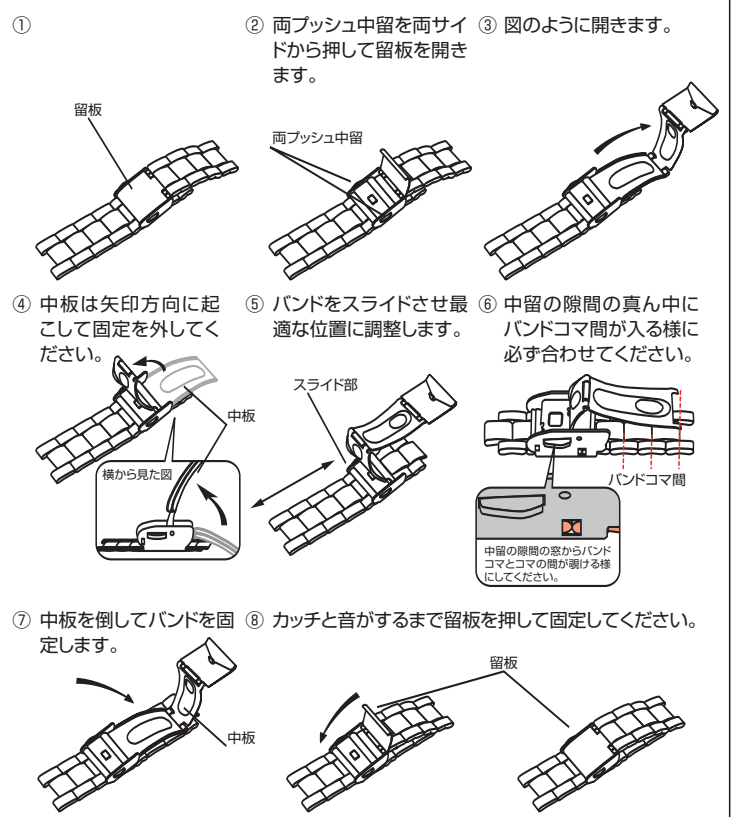
- ① バンド裏面のアジャスト穴にドライバー等を入れてバンド刻印矢印方向にピンを抜いてください。
- ② 不必要なコマを取り外した後、ピンを抜いた方向の状態、ピンを入れ戻してください。



<p>①</p> <p>着脱可能コマ</p>	<p>②</p> <p>止め具を矢印方向に外してください。</p>	<p>③</p> <p>この止め具も同様に外すことができます。</p>
------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------

<p>①</p>	<p>②</p>	<p>③</p>
----------	----------	----------

## 三ツ折フリーアジャストバンド



### 割ピン方式

- ① ピンをバンド裏面の矢印方向にそってドライバーの様なもので押し出します。
- ② 不必要なコマを取り外した後、ピンを抜いた方向の状態、ピンを入れ戻してください。



### 割ピン方式（ピン抜き台のある場合）

<p>① 付属のピン抜き台をバンド部調節穴に差し込み、バンドを上から押しつけ、バンドに組みこまれているヘアピンを押し出します。</p> <p>※必ず矢印の方向へ抜いてください。</p>	<p>② 外したいコマの両サイドのヘアピンを抜き、バンドをつめます。</p> <p>※途中からラジオペンチ等で挟んで、ピンをまっすぐに引き抜いてください。</p>	<p>③ 抜いたヘアピンのうち1本を使い、圓の方向に差し込みます。</p> <p>※ピンの形状が上下で異なります。正しい方を矢印に向けて入れてください。</p>	<p>④ 次にバンドを上逆下にし、平らな硬い台に押しつけ、ヘアピンを差し込んでください。ヘアピンは、確実に中まで押し込んでください。</p>
--	---	--	--

## 保証とアフターサービスについて

- ①修理のご依頼は原則としてお買い上げ店に保証書添付の上ご持参ください。
- ②当社は時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ガラス、側、バンド、文字板、針などの外装部品につきましては、外観の異なる代替部品を使用させていただく事がありますので、ご了承ください。
- ③保証期間を過ぎたものの修理については、有償にて申し受けます。また修理可能期間につきましては、ご使用の状態でいちじるしく異なりますが、部品保有法定期間に準じます。
- ④ご購入、ご購入によりお買い上げ店での保証が受けられない場合は、下記シチズン時計(株) Q&Q お客様相談室へ保証書を添えてご郵送またはご持参ください。その場合の諸掛りはおお客様のご負担となります。

※ご購入の場合は紛失などを防ぐため簡易書留をご利用ください。

<p>サービス窓口： <b>Q&amp;Qお客様相談室</b></p> <p><b>TEL.</b></p> <p><b>受付時間</b></p> <p><b>メールアドレス</b></p> <p><b>URL</b></p>	<p><b>0120-977-319</b></p> <p>10～12時／13～16時</p> <p>月～金(祝日、年末年始を除く)</p> <p>qqsupport@citizen.co.jp</p> <p>http://qq-watch.jp</p>
---	---

製造発売元 **シチズン時計株式会社 Q&Q事業部**

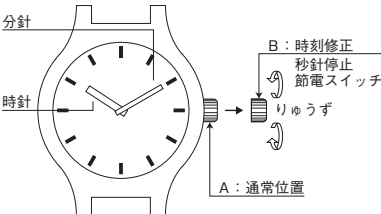
この取扱説明書は各モデル共通になっておりますので、デザインが異なってもご使用になられます。また、お買い上げ商品にない機能が載ってありましたらその箇所は省いてご利用ください。

### ●針の合わせ方

あらかじめ秒針を0秒に合わせ、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせ、時報と同時にリゅうずを押し込むと正確な時刻に合わせられます。この時、分針が若干動くことがあります。故障ではありません。  
(時報サービス117番で合わせると便利です。)

※二針の時計は秒針がありません。時報に合わせてリゅうずを押し込むと時計が分単位で動きます。時刻合わせ終了後、時計が動いていることをご確認ください。

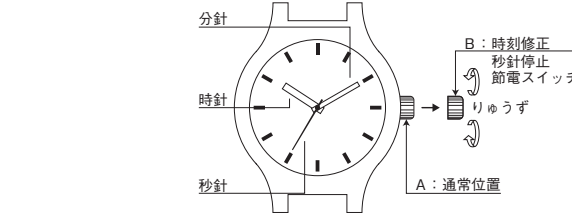
### 二針の時計



#### ●時刻の合わせ方

- リゅうずをB (1段引き) の位置まで引き出して、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。時計がスタートします。  
※リゅうずをA (通常位置) まで押し込んだ後、時計が動いていることをご確認ください。

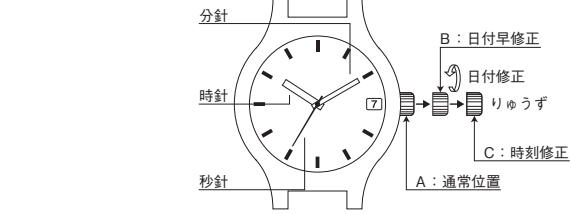
### 三針の時計



#### ●時刻の合わせ方

- リゅうずをB (1段引き) の位置まで引き出して、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。時計がスタートします。

### 日付のついている時計



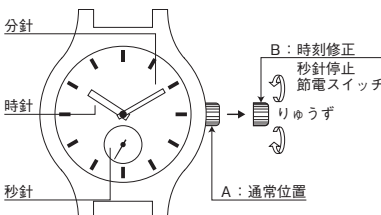
#### ●時刻・日付の合わせ方

- リゅうずをC (2段引き) の位置に引き出し、午前／午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをB (1段引き) の位置に戻し、左に回して日付を合わせてください。
- 日付が合いましたら、リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。

午後9時～午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

午前と午後 { 午前12時(真夜中の12時) : 11時30分～1時の間に日付が変わります。  
の区分 { 午後12時(お昼の12時) : 日付は変わりません。

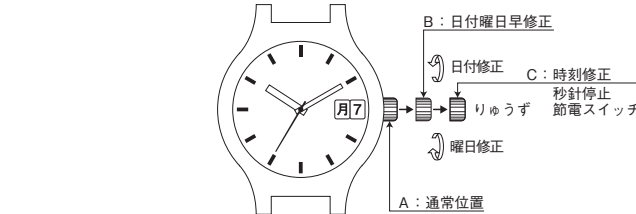
### 小秒針付き時計



#### ●時刻の合わせ方

- リゅうずをB (1段引き) の位置まで引き出して、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 針合わせが終わりましたらリゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。時計がスタートします。

### 曜日・日付のついている時計



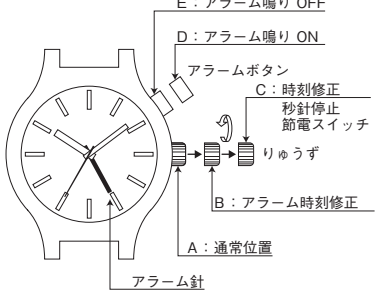
#### ●時刻・曜日・日付の合わせ方

- リゅうずをC (2段引き) の位置に引き出し、午前／午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをB (1段引き) の位置に戻し、右に回して曜日を修正、左に回して日付を合わせてください。
- 曜日・日付が合いましたら、リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。

午後9時～午前4時30分までは曜日・日付の修正はしないでください。曜日、日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。曜日、日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

午前と午後 { 午前12時(真夜中の12時) : 11時30分～1時の間に日付が変わります。  
の区分 { 午後12時(お昼の12時) : 日付は変わりません。

### アラーム付時計



#### ●アラーム時刻の合わせ方

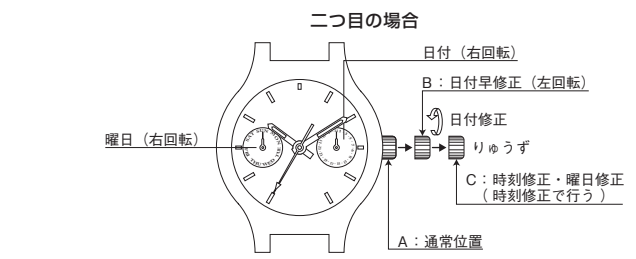
- リゅうずをB (1段引き) の位置まで引き出してアラーム針をアラーム時刻に合わせてください。
- 針合わせが終わりましたらリゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。時計がスタートします。

#### ●アラーム鳴りのON/OFF

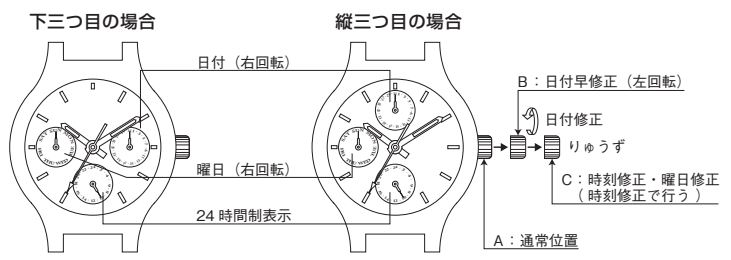
- アラーム鳴りをONにする場合は、アラームボタンをD (1段引き) の位置まで引き出してください。

- アラーム鳴りをOFFにする場合は、アラームボタンをE (通常位置) まで押し込んでください。
- アラームは1回15秒間鳴ります。アラームボタンをE (通常位置) まで戻さない場合は、3分毎にくりかえし数回鳴りつづけます。

### 多針時計



※三つ目は2種類の機種がありますが、三つ目の位置が違うのみで、機能・操作は同じです。

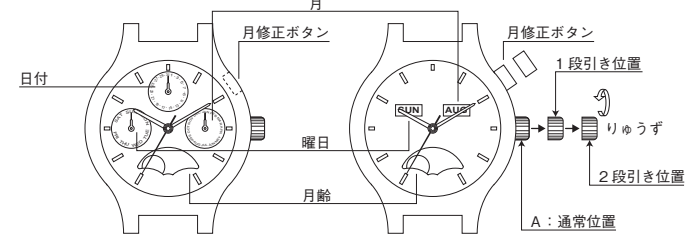


#### ●時刻・曜日・日付の合わせ方

- リゅうずをC (2段引き) の位置に引き出し、リゅうずを回して曜日を合わせてください。午前12時～午前4時30分の間に曜日針は動きます。曜日針が本日の曜日を指すまで回してください。
- 曜日が合いましたら、午前／午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 曜日・時刻が合いましたら、リゅうずをB (1段引き) の位置にしてリゅうずを回して日付針が本日の日付を指すまで回してください。
- すべての針合わせが済みましたら、リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。

午後9時～午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

### ムーンフェイス時計



#### ●曜日の合わせ方

- リゅうずを2段引き位置に引き出し、右に回して曜日を修正をしてください。リゅうずを左回転(時・分針を反時計方向に回転)させて、曜日の修正を行うと日付が切り替わらないことがあります。

※午前12時～午前5時30分までは曜日の修正はしないでください。曜日は午前12時～午前5時30分前後頃までには切り替わります。

#### ●時刻の合わせ方

- リゅうずを2段引き位置に引き出し、午前／午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずを通常位置まで押し込んでください。時計がスタートします。

午前と午後 { 午前12時(真夜中の12時) : 11時30分～1時の間に日付が変わります。  
の区分 { 午後12時(お昼の12時) : 日付は変わりません。

#### ●日付の合わせ方

- リゅうずを1段引き位置に引き出し、左に回して日付を修正をしてください。リゅうずを左回転(時・分針を反時計方向に回転)させて、曜日の修正を行うと日付が切り替わらないことがあります。

※午後9時～午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

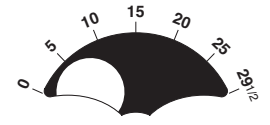
#### ●月の合わせ方

- 月修正ボタンを1回押す毎に、1ヶ月づつ月針が時計方向に動きます。またボタンを押し切らないと月が切り替わらないことがあるため、ボタンをきちんと押しつけて修正してください。

※日針が30～31日の間を示すときは月の修正をさけてください。翌月になっても月が切り替わらないことや、月の修正ができないことがあります。この期間は、日針を30～31日の範囲外にして月修正を行ってください。この後で日針をセットし直してください。

#### ●月齢の合わせ方

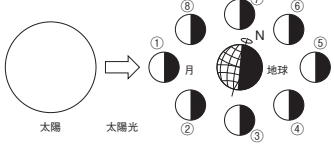
※この月齢表示は、月齢を表示したもので月そのものの形を表示したものではありません。  
※月齢表示は、月齢の目安としてご利用ください。従って月齢合わせも目安で行ってください。



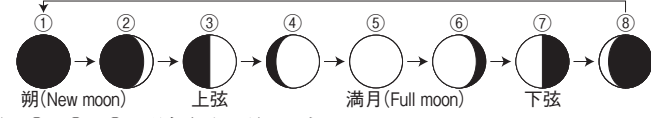
- 当月の月齢を確認します。今日または明日の月齢を新聞・インターネットなどで調べます。明日の月齢を見た場合は1日分引きます。
- 月齢合わせ [例: 月齢4.4] リゅうずを1段引き位置まで引き出して、月マークを時計方向に回転させ月マークの中心方向が月齢目盛りのおおよそ4.4を示す位置に合わせてください。

#### ●月齢とは

- 月の満ち欠け(月の位相)  
月の満ち欠けは地球から見た太陽と月の位置関係によって変化します。右図において月が①の位置にあるとき(月が太陽と同じ方向にあるとき)は、地球から見て月は背後から照らされています。この状態を新月(朔)と呼びます。



そこで月はそれぞれの位置によって、下図のようになって見えます。



- 月齢とは…朔(New moon) から経過した時間を1日単位で表したもので、朔(New moon) から次の朔(New moon) までの平均周期は、約29.5日に相当します。

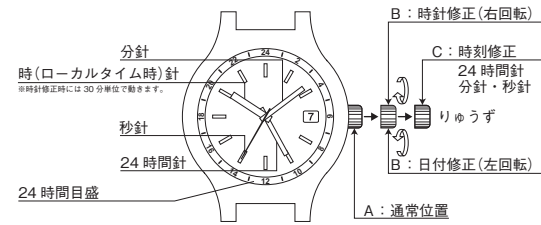
#### ●月齢の見方 (表示例) …月齢表示から潮の大小が読み取れます。

朔 (New moon) ①月齢0 (大潮)	上弦 ③月齢約7 (小潮)	満月 (Full moon) ⑤月齢15 (大潮)	下弦 ⑦月齢約22 (小潮)

※この時計の月齢をより正確に合わせたいときは、朔(New moon)【月マークが全く見えない状態…月齢0】または、満月(Full moon)【月が真上(12時方向)にある状態…月齢15】のときに合わせることをおすすめいたします。

### デュアルタイムウォッチ

2つの時刻を同時表示できるデュアルタイム機能を搭載したアナログクウォーツウォッチです。



#### ●時刻の合わせ方

- リゅうずをC (2段引き) の位置に引き出します。
- リゅうずを回して24時間針と分針を現在時刻に合わせます。この時、24時間針に合わせて時針も連動します。
- リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。
- リゅうずをB (1段引き) の位置に引き出します。
- リゅうずを右に回して時針を現在時刻に合わせます。時針は時計回りに+30分ずつ修正できます。
- リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。

#### ●日付の合わせ方

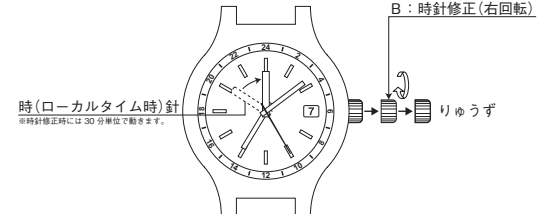
- リゅうずをB (1段引き) の位置に引き出します。
- リゅうずを左に回して日付を合わせます。
- 日付が合いましたら、リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。日付は時針に連動していますので、時針が午前12時頃になると日付が変わります。デュアルタイムウォッチとしてご使用の場合にはご注意ください。

午後9時～午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

午前と午後 { 午前12時(真夜中の12時) : 11時30分～1時の間に日付が変わります。  
の区分 { 午後12時(お昼の12時) : 日付は変わりません。

#### ●デュアルタイムウォッチとしての使い方

この時計は、時計を止めずに時針だけを単独に修正することができます。24時間針と時針の時刻を異なる時刻に合わせることで、デュアルタイムウォッチとして使用することができます。時刻修正後は、時針を「ローカルタイム時」として読み取ります。



- リゅうずをB (1段引き) の位置に引き出します。
- リゅうずを右に回して時針を合わせたい時刻に合わせます。時針は時計回りに+30分ずつ修正できます。午前と午後に注意して時針を合わせてください。
- リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。

時針は反時計方向には修正できません。また、日付は時針に連動していますので、時針を合わせた時間によっては、時針修正後に日付の修正が必要な場合があります。